

# 小学校 国語

年

組

番氏名

1

総合的な学習の時間に「ふるさと富山の人物を紹介しよう」をテーマに学習しています。福田さんのグループでは、一人一人が「浅野総一郎」について調べた【メモカード】と【記事】をもとに話し合い、紹介することを決めようとしています。次の【メモカード】【記事】【話し合いの様子の一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【メモカード】

### 大商人を夢みる

- ・15さいのときから、いくつもの仕事をする。  
⇒何度も失敗し、多くの借金
- ・23さいごろには、砂とう水や食料品を包む竹の皮を売る⇒成功
- ・炭やまきを大量に仕入れて安く売る。  
⇒商人や役所から信用を得る。

A

### 浅野セメント工場 30さいごろ

- ・セメント事業はきつと発てんと確信
- ・政府の「深川セメント」をゆずり受ける。  
⇒浅野セメント工場を設立  
「日本のセメント王」と呼ばれる。

B

### 海運業に進出する 48さいごろ

- ・船でぼうえきを行う海運業に進出  
⇒サンフランシスコ(アメリカ)とのぼうえきを大きくする。

D

### 工業地帯をつくる

- ・日本の港の整備がおくれていることを感じる。
- ・安田善次郎からお金の助けを受け、14年をかけて東京湾の埋め立て工事を完成  
⇒関東の工業地帯のもとになる。

C

### ふるさとの発てんにつくす

71さいごろ

- ・高岡駅と伏木の間に運河をほり、工業地帯をつくる。
- ・庄川にダム式発電所を建て、工業地帯に送電する事業を行う。

E

## 【記事】

安田善次郎さんが  
見込んだ事業家

浅野総一郎

- ① 安田善次郎さんが資金を協力した人の中で、特に親しくつき合ったのが、同じ富山県出身の浅野総一郎さんでした。
- ② 商人として成功したいという熱い思い、さまざまな新しい工夫を試みる努力、時代の先を読む商人としての目。
- ③ 善次郎さんは、誰も考えつかないようなアイデアで、つぎつぎと事業を成功させる総一郎さんの腕と度胸にほれ込み、「この男となら、歴史に名を残すような大事業が成し遂げられるだろう」と感じていたのです。

- ④ 実際、総一郎さんは赤字続きだった官営のセメント工場を、五年間でそれまでの五倍の利益を上げるまでに成長させていました。

- ⑤ 総一郎さんは、善次郎さんの援助を受けて、さまざまな事業に取り組みました。外国航路をもつ船会社の設立もそのうちのひとつです。

- ⑥ 東京湾に、大型船が着岸できるような、設備の整った工業地帯をつくりたいという計画を総一郎さんが練ったときにも、善次郎さんはお金を惜しまずに援助しました。

（夢を追いかけて）刊行委員会『夢を追いかけて』「ふるさと」と「やま」のチャレンジジャーナルより

【話し合いの様子の一部】

福田　まず、浅野さんについて調べたことを基に意見を交換し、次に、どのようなことを紹介するのか、グループとしての考えをまとめます。みなさんは浅野さんをどのような人だと思いましたか。

太田　浅野さんは砂とう水や食料品を包む竹の皮、炭やまきなど、いろいろなものを売る仕事をしていました。大商人になりたいという夢に向かって、強い気持ちをずっともち続けていた人だと思います。

石川　わたしも、浅野さんが十五さいの時からいくつもの仕事をしていたことにおどろいたし、何度失敗してもちよう戦する姿勢がすばらしいと感じました。

山田　ぼくは、富山県に工業地帯をつくったり、しょう庄川に発電所を建てたりした浅野さんは、ふるさと富山の発てんを願って、ふるさとを大切にする人だと思いました。

福田　松山さんは、【記事】を見付けてきましたね。松山さんは浅野さんをどんな人だと思いましたか。

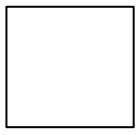
松山　わたしは、◆

福田　みなさん、他の人の意見を聞いてどんなことを感じましたか。

　　話し合いは続く　　

――線部「何度失敗してもちよう戦する」という意味を表すことわざを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1　失敗は成功のもと
- 2　石の上にも三年
- 3　七転び八起き
- 4　二度あることは三度ある



二 松山さんは【メモカード】と【記事】の内容を関連させて発言しようとしています。あなたが松山さんならどのような発言をしますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉 ○ 【メモカード】の㊤から㊦の中から一枚、【記事】の①段落から⑥段落の中から一つの段落を選び、それぞれに

書かれている内容にふれること。

○ 浅野さんをどんな人だと思うかについて、自分の考えを書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ

選んだ【メモカード】の記号

選んだ【記事】の段落

11

※ 左の原稿用紙は下書き用です。解答は、解答用紙に書きましょう。

※ ◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

[illegible]